



羽島市第六次総合計画における土地利用構想

◆都市の骨格構造（概念図）



地域資源を生かした交流エリア（竹鼻まちなか・丸の内周辺）

古い街並みや神社仏閣、歴史民俗資料館・映画資料館などの歴史・文化資源にふれあう機会を拡充するとともに、美濃竹鼻まつり・ふじまつり等のイベントを生かした交流を促進させます。また、生涯学習の推進、芸術・文化の振興の拠点となる文化センターや、子育て世代が気軽に集い情報交換を行う場としての支援拠点である福祉ふれあい会館などの公共施設等を生かし、地域や世代を超えた交流の場としての土地利用をめざします。

羽島市第六次総合計画

羽島市が長期的な展望（計画期間：平成27（2015）年度～令和6（2024）年度）の下で、総合的かつ計画的なまちづくりを進めるための指針となるもの。人口の減少、少子化及び高齢化の一層の進行、不安定な経済情勢、高度情報化、住民ニーズの多様化、地方分権改革の進展などの現状を踏まえ、羽島市の地域特性や資源を最大限活用しながら、市民の皆さんと行政が連携・協働を図り、引き続き住みよいまちづくりを進めることを目的に策定。

当該エリアにおける交流の場の創設については、新庁舎において整備を完了し、以降における新たな機能の整備については、現状計画がない。